

町 長	副町長	課 長	主 幹	担 当	合 議

別記様式第 4 号

会 議 等 結 果 報 告 書			
会議区分	会議	文書番号	上富子育 第 408 号
		決裁期日	平成 25 年 11 月 29 日
名 称	【平成 25 年度第 2 回】上富良野町子ども・子育て会議		
日 時	平成 25 年 11 月 27 日（水） 18：00～20：15		
場 所	上富良野町保健福祉総合センター 2 階研修室		
出席者	子ども・子育て会議委員 13 人(別紙名簿のとおり) 保健福祉課長 石田、子どもセンター 山田主査、 子育て支援班 安井、吉河		
内 容	<p>1 開会 欠席委員の報告(石田課長)</p> <p>2 議事 委員長進行</p> <p>(1) 子ども・子育て支援事業計画ニーズ調査の内容について 事務局修正案について説明..別紙のとおり 前回の会議で意見のあった点について修正した調査票及び就学児用の調査票</p> <p>【委員長】 説明に対し質問を求める。</p> <p>広瀬委員 : 調査票の自由記載欄の意見などに対し、回答するのか。</p> <p>事務局 : 無記名回答のため個別に回答することはできない。 広瀬誌などで回答することは想定していない。</p> <p>広瀬委員 : 書かれた意見はどうなるのか。</p> <p>事務局 : この会議の中で計画策定に反映させてゆく</p> <p>【委員長】 調査票修正案について、各委員の意見を求める。</p>		

【各委員より】

- ・ 2 ページ後段の「保護者の自己肯定感……」の表現は、理解しにくい。
国の示した表現であるが、町の総合計画に沿ったわかりやすい表現に修正
- ・ 3 ページ用語の定義について、表にするなどもっとわかりやすくする。就学前児童用にも放課後クラブ、スクールについての説明が必要。上小、西小を正式表記。
- ・ 問 12「アルバイト等」の場合、フルタイムと短時間アルバイトがあるので表記しないほうがわかりやすい。
- ・ 時間の記入方法(24 時間制)は、記入箇所への注意書きに変えるか午前午後に修正したほうが間違えにくいのではないかと。
- ・ 問20、問21 の「定期的な教育・保育の事業」という表記は「幼稚園、保育所」にしたほうがわかりやすい。
- ・ 問22-1 回答選択番号は、頻度が多いものから順に記載すべき。
同設問の選択回答に町内にないサービスを記載するのは不適當
「病児病後児保育、ベビーシッター」「町外の保育サービス等」に修正
- ・ 問23 の前の見出し中、「宿泊を伴う」を削る。
- ・ 問23-1 の理由に「定期的にご利用しているため」を加える。
- ・ 問26 (5 歳以上の設問)の前に、「5 歳未満の場合は問30 へ進む」語句を追加
就学児用の問26 の質問語句を修正「していますか」「させていただきますか」
児童通所支援施設の表記がわかりにくいいため「事業所」に修正し、「日中一時支援事業」を加える。
- ・ 問30、回答欄 か月を か月に修正
- ・ 問30-4 (削除設問)を復活
- ・ 問32、回答選択肢をジャンルごとに順番を整理する。

各委員から意見があった点については事務局で修正することとする。

【委員長】事務局で修正したものを上富良野町の調査票として決定する。

【委員長】二一ス調査の内容を決定したところで、委員皆さんから何でも構わないので一言ずつ、会議の感想などお願いしたい。

広瀬委員 : このような会議に参加できてうれしい

菅野委員 : 周りの人に協力をお願いして、多くの人に回答してほしい。

菊池委員 : 多くの人に回答してほしい

北村委員 : 自分の意見がどのように反映されるかという目的が見えるとよい。

森井委員 : 回答するもの大変だと思うが、アンケートを作るのも大変なことだと感じた。

谷口委員 : 働く母親目線を強く感じる。子育てに専念する母親の感覚も必要
アンケートが目に見える形になってゆくとよい。

高松委員 : 自分の子育て時代と比べるとサービスはとて良くなっているが、
母親の本質的な悩みは別にあると感じる。

増田光委員 : 就労する保護者に偏った印象はある。子ども目線で考えたい。
自分もしっかりと回答したい。

- 成田委員 : このように意見を言える場があることはよい、働いているか働いていないかは子育てに関係ないと感じる。
- 寺岡委員 : 皆さんが一生懸命よいアンケートを作ろうとしている。多くの方に協力を呼びかけたい。
- 野崎委員 : 保護者委員の皆さんが良く勉強しており参考になった。皆さんの意見を活かして事業を実施してゆきたい。
- 若林委員 : 自分も共働きで昔ずいぶん苦労した。

(2) 調査票の配付及び回収方法について

事務局案として、配付は一斉に郵送とし、回収は郵便のほか幼稚園、保育所、学校、公共機関に協力願ひ、保護者の都合の良い方法で回収できるようにする。

12月25日を回収期限とし、12月10日ごろ発送予定

【委員長】配付、回収方法について各委員に意見を求める。

- ・ 多くの保護者委員から、配付も幼稚園や保育所、学校からとするほうが、保護者としては「回答しなければならぬ」という意識が高まり、回収率が上がるとの意見があった。
- ・ 各施設代表の委員、学校長、教育振興課に、配付及び回収に協力を依頼できるか確認。
- ・ 関係委員から承諾を得る。

菊池委員 : 中富良野たんぽぽ、未就園児の対応について質問

事務局 : 町内の幼稚園、保育所、小学校を利用していない対象者については郵送により配付、回収を行う。

3 その他

前回の会議で意見のあったニーズ調査実施の広報について

11月25日号の広報誌に掲載、町のホームページ、防災無線放送を予定

各園や学校の通信などでも周知について協力を依頼

4 閉会

次回の会議は、調査の集計・分析が終了する、2月末から3月上旬の予定。

日程は、委員長及び副委員長と調整のうえ決定し、案内する。